

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25220703	研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
研究課題名	太陽コロナ・彩層加熱現象に迫る －ひので・IRIS・CLASP から SOLAR-C へ	研究代表者 (所属・職) (平成 28 年 3 月現在)	常田 佐久 (宇宙航空研究開発機 構・理事)

【平成 28 年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
○	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等) 本研究は、日本の太陽観測衛星「ひので」が切り開いた太陽彩層・遷移層の動的物理現象の分野に新たな道を開く意欲的なものである。若手研究者を主体とした研究組織を構成し、「ひので」と NASA の衛星 IRIS との同時観測による彩層プラズマ観測の解析と、観測ロケット CLASP による世界初のハンレ効果を用いた彩層・遷移層の磁場測定を行ってきた。CLASP 実験は成功し、解析が順調に進められている。予想以上の新しい結果が得られ、当初の計画以上の成果が上がりつつあり、国際的にも大きな期待が寄せられている。		